

2022年度>>>2026年度

この計画は、2022年度から2026年度の間で取り組むものです。

数字で見る多景地区の“今”

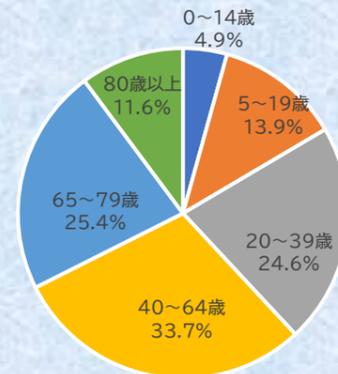
《世帯数や高齢化率 等》 出典/彦根市人口データ等より(令和4年12月現在)

自治会名	八坂町	須越町	三津屋町	多景地区	彦根市
人数	1,096人	556人	246人	1,882人	111,741人
世帯数	463世帯	217世帯	104世帯	784世帯	50,047世帯
高齢化率(65歳以上)	28.8%	35.4%	41.9%	35.3%	25.8%
高齢者世帯数	130世帯	82世帯	40世帯	252世帯	7,254世帯
1人暮らし高齢者数	80人	50人	20人	150人	7,107人

世帯数にはアパート等を含みます。

《人口の構成》 出典/彦根市住民記録年齢別人口集計表(令和4年2月現在)

年齢	0~4歳	5~19歳	20~39歳	40~64歳	65~79歳	80歳以上	合計
人数	83人	235人	415人	568人	428人	196人	1,925人
構成率	4.9%	13.9%	24.6%	33.7%	25.4%	11.6%	



※四捨五入の関係上100%になりません

	0~4歳	5~19歳	20~39歳	40~64歳	65~79歳	80歳以上	合計
八坂町	60人	147人	261人	317人	226人	93人	1,104人
八坂町	5.4%	13.3%	23.6%	28.7%	20.5%	8.4%	
須越町	17人	64人	102人	176人	121人	76人	556人
須越町	3.1%	11.5%	18.3%	31.7%	21.8%	13.7%	
三津屋町	6人	24人	52人	75人	81人	27人	265人
三津屋町	2.3%	9.1%	19.6%	28.3%	30.6%	10.2%	

第2次多景地区住民福祉活動計画

策定:多景地区社会福祉協議会(第2次住民福祉活動計画推進会議)

編集・発行:社会福祉法人彦根市社会福祉協議会

〒522-0041 彦根市平田町670彦根市福祉センター別館1階

【でんわ】(0749)22-2821 【ファックス】(0749)22-2841

【ホームページ】<http://www.hikone-shakyo.or.jp>



ホームページ

この計画書は「赤い羽根共同募金」の助成金で作成してます。

第2次

多景地区 住民福祉 活動計画

昔からの人と人のつながりが今もしっかり残っている…

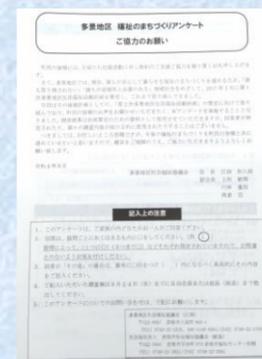
これは多景地区の財産ではないでしょうか。

今も生きる人と人とのつながりを大切に守っていき次世代につないでいきましょう。

多景地区はこんなところ

多景地区は、琵琶湖に浮かぶ多景島を望む八坂町・須越町・三津屋町の三町からなる地区であり、旧多景小学校の学区です。

旧来からの「向こう三軒両隣」や「五人組」の意識が残っており隣近所の間があることと併せて、町内のつながりや三町連合による他町とのつながりもあります。



【福祉のまちづくりアンケート】



アンケート集計作業の様子

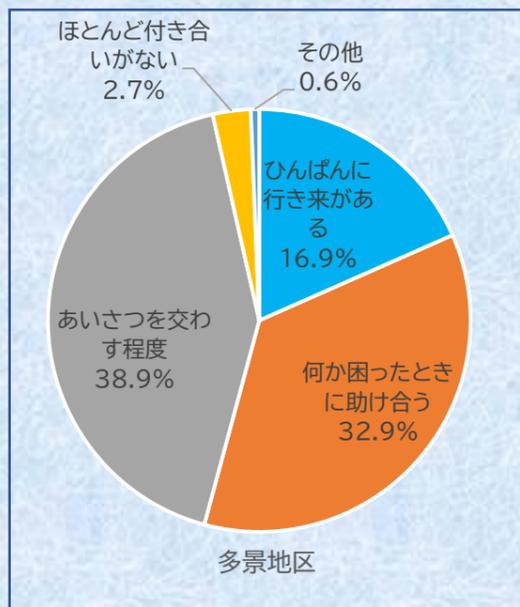
この計画の指針を作成するために地区内の全戸を対象に「福祉のまちづくりアンケート」を実施しました。ご協力いただき、ありがとうございました。このアンケート結果をもとに、多景地区社会福祉協議会や各自治会長、民生委員児童委員の方々等のメンバーで推進会議を開催し、地区内の課題や今後必要と思われる取り組みを話し合ってきました。今後は、この計画の指針に地域の方々の意見を取り入れながら、実際の活動に取り組んでいきます。

あなたもわたしも居場所と出番があるまち 多景



コロナ禍で途切れた地域活動のREVIVAL(リバイバル) 復活・再生・復興をめざして

Q. あなたはとなり近所の方とどのようなつきあいをしていますか。



1 フェイスtoフェイス 回覧板は手渡しで回そう

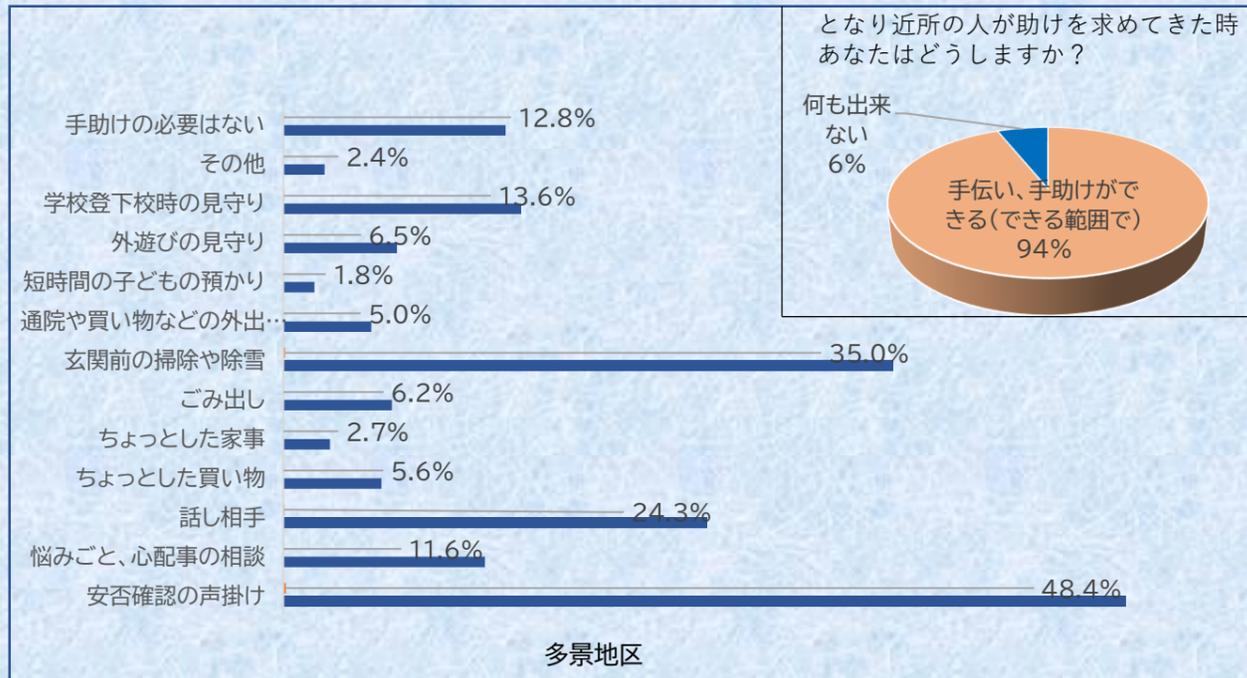
つつい遠慮しがちだけど…顔を見てこそそのコミュニケーション。「いつも回覧板を渡す〇〇さん、最近様子がおかしいな…」そんなことに気付き合えます。



【アンケートの声～こんな町にしたい】

- ・若者が住みたいと思い、子育てしやすい町。未来につながる町
- ・元気な高齢者が地域でいきいきと活動できる町
- ・地域の困り事や奉仕活動などボランティア活動が盛んで支え合いができる町

Q. あなたの地域で、身近な地域の人による手助けが必要だと思うことは何ですか。



2 向こう三軒両隣 お互い様で見守り合おう

おとなりさんや、ご近所さんだからこそ、日々の見守り合いが行えます。

夜に電気は点いているかな？



新聞や郵便物、牛乳はたまっていないかな？



命のバトンの普及



しばらく家を空けるときは、心配されますので、できるだけお隣さんに声をかけておきましょう。

3 みんなで命の守り合い… ともに考えよう！災害時の助け合い

となり近所に災害時に助けが必要となる人はいませんか？
誰かに助けてほしいと思っている人はいませんか？
地域で共に考えていきましょう。

